

PRESS RELEASE



尚綱学院大学

Passion with Mission

熱い心、響かせる

リリース日：2021年6月29日

始動！「とびだせ！閑上しらすプロジェクト」

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。
本学は有限会社まるしげ（漁亭浜や）様と、去る5月6日に相互協力連携協定を締結いたしました。
これは様々な分野で相互に協力し、地域社会の発展に寄与することを目的とした包括的協定です。この協定を生きたものとするために、早速第1弾の連携プロジェクト「とびだせ！閑上しらすプロジェクト」が立ち上がりました。

このプロジェクトは、閑上が日本のしらすの水揚げ最北端であることを押し出し、閑上＝しらすというイメージの定着と向上を目指すことを目的に、本学学生が中心となって活動していくというものです。
プロジェクトのスタートとなる今年度は、芸術教育法を指導する子ども学科教員相馬亮とそのゼミの学生による、閑上しらすをモチーフとしたキャラクターやロゴマーク等の制作と定着が主な活動となる予定です。

本プロジェクトはその後の5月27日、有限会社まるしげ様の申請により「2021年度名取市産学官連携推進事業」に採択されました。まるしげ様1企業の利益のための産学連携ではなく、閑上の町全体を活性化させるためのプロジェクトとなっていることが評価されました。

<概要>

- 事業名：とびだせ！閑上しらすプロジェクト
- 企業名：有限会社まるしげ（漁亭浜や） 連携協力機関：尚綱学院大学
- 内容：閑上しらす（北限のしらす）をモチーフとした**イメージキャラクター等の制作**及び定着
- 担当教員：尚綱学院大学子ども学科 准教授・相馬 亮（そうま りょう）
- 学 生：相馬ゼミ 計8名

<プロジェクト立ち上げの経緯（課題と目的）>

現在日本のしらすの水揚げ再北限は名取市閑上となっており、「閑上北限のしらす」として数年前より展開されてきました（商標はマルタ水産様）。しかし、まだ他地域における閑上＝しらす名産の認知度は高まっておらず、その向上が閑上の町において課題として検討されてきました。課題の要因として、

- ①閑上のしらすの特長が不明確であること（他との優位性が証明できていない）
- ②商品インパクトが低いこと（文字と写真だけでは伝わりづらい）
- ③閑上地域の一体化の不足（町の特産品としての気持ちの一体化ができていない）

などが考えられ、その改善と閑上しらすの認知度向上を目的として本プロジェクトは立ち上げられました。

<内容>

本学相馬ゼミの学生が中心となり、1年間かけて閑上「北限のしらす」をモチーフとしたロゴマーク、イメージキャラクター、愛称等を制作します。またその使用方法等を公開し、閑上の町全体として使用できる環境を構築するとともに、その定着のため、使用マニュアルや商品や名刺に貼るシールを作成します。

- ①イメージキャラクター作成
- ②イメージキャラクター名称作成
- ③ロゴマーク作成
- ④上記①～③広告用データ・仕様書・マニュアル等の作成
※自社に止まらず、地域の広い範囲での使用を想定
- ⑤上記①～③普及シール作成
※名刺や商品に貼り、キャラクターやロゴを普及する
- ⑥普及のための地域活動等

<事業目標「2021年度名取市産学官連携推進事業」申請書より>

尚絅学院大学にて造形学を研究・指導する子ども学科相馬亮教授を研究代表者として、学生の視点と感性、活動力を活用し、閑上「北限のシラス」をモチーフとしたイメージキャラクター、愛称、ロゴマーク等を作成する。

有限会社まるしげをはじめとする閑上地域の人々と学生との意見交換を重ね、学生の視点で計画を進めていき、学生から見た閑上・北限のシラスを形として作り上げていく。完成したデザインを広告物に使用できる状態まで作り上げ、使用マニュアルの作成まで行う。また完成したロゴ等のシールを作成し、キャラ・ロゴを普及する。

なお、この事業の目的は一企業の販促におくものではなく、閑上という地域全体と特産物のPRである。そのため作成したデザイン等も、閑上全体で使用できるよう、地域でのコンセンサスをとっていくことを目指す。

<第1回 キックオフミーティング 閑上現地体験を開催しました！>

6月4日、閑上の関係各位と本学相馬ゼミとの第1回キックオフミーティング 閑上見学会が開催されました。まるしげ様だけではなく、閑上に係る多くの方がプロジェクトに賛同、学生に閑上や水産業、しらす等のことを熱く教えて下さいました。また学生からも率直な意見や質問が飛ぶとともに、今企画にかける意気込みを閑上の皆さんに伝えました。閑上を知るだけではなく、自分たちが主となるプロジェクトに、これだけ多くの人が関わってくれていることに気づく場ともなったようです。

■プログラム

- | | | | | |
|-------|---------|---------------------|----|--|
| 10:30 | 閑上見学 | ～慰霊碑・日和山・メイプル館～ | | |
| 10:40 | 閑上漁港 | 講話 「閑上の魚介と漁について」 | 講師 | 漁師 出雲様
宮城大学 副学長 西川様
名取市農林水産課 阿部様 |
| 11:40 | 伝承館見学 | | | |
| 12:00 | かわまちテラス | 「浜や食堂」 ～しらす丼実食体験～ | | |
| | | 講話 「名取市について」 | | 名取市商工観光課 中澤様 |
| 13:00 | 名取市公民館 | | | |
| | | 「閑上産業についての学習と意見交換会」 | | |
| | | ・あいさつ | | 有限会社まるしげ 代表取締役社長 佐藤様 |

- ・ 関上のシラスの歴史と過去のイベント等について

株式会社マルタ水産 取締役専務 相澤様
株式会社センシン食品 通販事業部 高橋様

- ・ 関係者紹介と学生自己紹介 ～ 質疑応答 ～

14:45 終了

■参加者

◇有限会社まるしげ（漁亭浜や）

- ・ 佐藤 智明（代表取締役社長）
- ・ 渡部 正守（名取地区長）

◇尚綱学院大学

- ・ 相馬 亮（子ども学科准教授）
- ・ ゼミ学生 8 名
- ・ 小島 里見（教育研究支援課 課長）
- ・ 佐々木 真也（教育研究支援課 課長補佐 産学官連携担当）

◇株式会社マルタ水産

- ・ 相澤 太（取締役専務）

◇株式会社センシン食品

- ・ 高橋 大善（通販事業部）

◇漁師

- ・ 出雲 浩行

◇宮城大学

- ・ 西川 正純（副学長）

◇名取市

- ・ 太田 伸一（商工観光課 企業誘致係 主査）
- ・ 中澤 真哉（商工観光課 主査）
- ・ 阿部 のぞみ（農林水産課）

◇関上公民館

- ・ 赤川 泉美

本プロジェクトは3年計画のプロジェクトであり、段階的に進めていく予定です（今年度はその第1弾としてキャラクターやロゴマーク等を制作します）。その都度報道の皆様にはご案内をさせていただきます。今後の懸念事項として予想されるのが、キャラクターやマークの定着についてです。認知度に加え、地域の一体化、地域への浸透度が重要となってくることは容易に想像できます。この点におきまして報道各社様のお力添えがいただければ、これほど心強いことはありません。ご多忙とは存じますが、地域と学生の思い、地域の活性化のためにもぜひ取材・報道等いただけますようお願いいたします。

<本件への問い合わせ先>

尚綱学院大学

教育研究支援課 佐々木 真也

電話：022-381-3502

Mail：ksien@shokei.ac.jp

<キックオフミーティング 閑上現地体験の様子>

